

平成30年度畜産・酪農生産力強化対策事業(繁殖性等向上対策)の概要

和牛繁殖経営におけるICT*(情報通信技術)等を活用した繁殖性の向上等を図るための取組を支援します

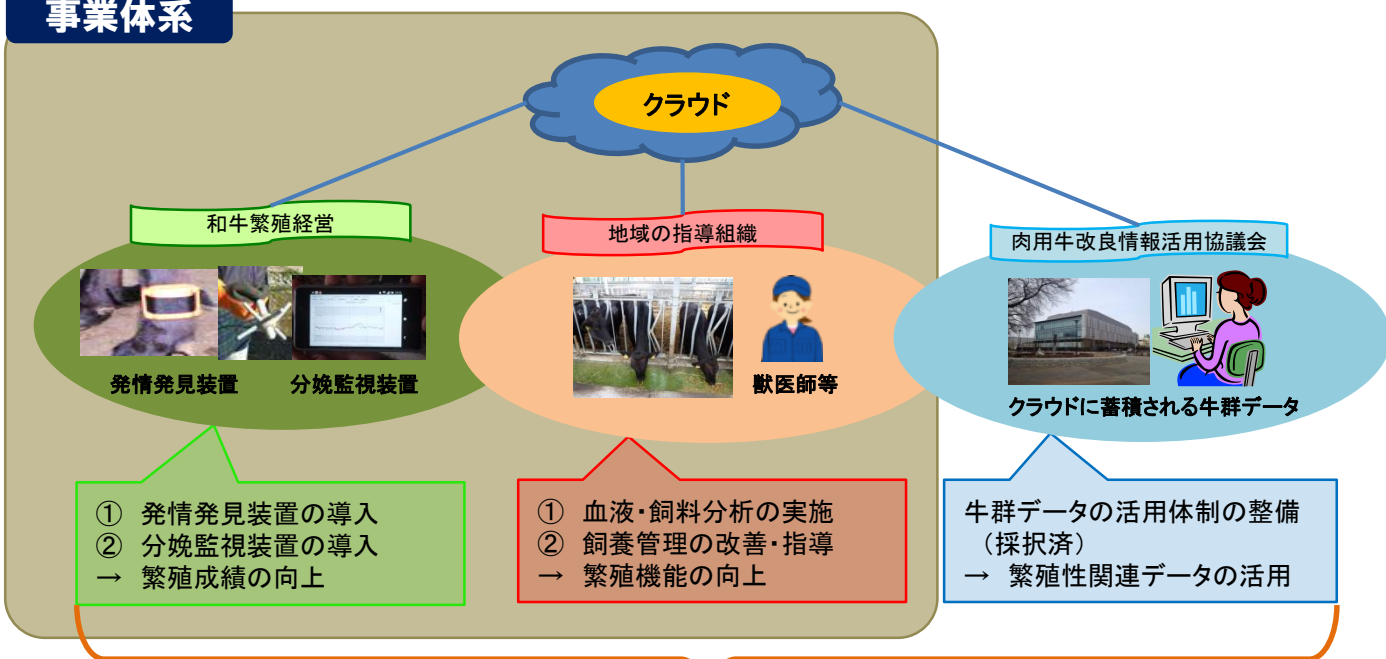
(※ Information & Communications Technology の略)

支援内容

1. 発情発見装置や分娩監視装置の導入
2. 牛群の血液及び飼料分析の実施とその解析結果等を活用した飼養管理の改善・指導の取組
3. 牛群データの活用体制の整備
4. 繁殖成績の向上のための新たな測定・分析技術の実証

今回の公募

事業体系



4. 繁殖成績の向上のための新たな測定・分析技術の実証
→ 技術の精度向上や簡便化を推進

裏面へ

主な要件

- ・繁殖目的に飼養されている黒毛和種、褐毛和種、日本短角種、無角和種、その他肉専用種(乳用種と肉専用種の交雑種は含まない。)の雌牛又はその子牛であること。
- ・繁殖性の向上や繁殖管理の効率化に資する発育や栄養度等に関する指標をICT等の新技術によって測定・分析する技術であること。
- ・既に商品化されている技術にあっては、それを改良して、新たに実用化・商品化を試みようとするものであること。

事業の流れ

【応募の締切】平成30年6月11日(月)

技術実証主体

(肉用牛の繁殖性向上に資する新たな技術を実証する共同の目的に沿った活動を行う法人格を有さない組織)

応募提出

採択通知

実施主体

(肉用牛改良情報活用協議会構成員)
公益社団法人畜産技術協会が担当

技術実証主体

- ・2つ以上の企業、大学、独立行政法人、農業者の組織する団体等でコンソーシアムを構成
- ・技術実証を的確に遂行するに足る組織、人員、能力等を有していること
- ・技術実証を円滑に遂行するための財政基盤を有していること
- ・技術実証終了後に、技術実証の成果として得られた技術やノウハウを広く普及するに足る能力等を有していること

実施主体

肉用牛改良情報活用協議会(事務局:一般社団法人全国肉用牛振興基金協会)の構成員である公益社団法人畜産技術協会が担当

公募の詳細

公益社団法人 畜産技術協会(HP)

<http://jlta.lin.gr.jp/>

【公募関係】肉用牛改良情報活用協議会(事務局:一般社団法人全国肉用牛振興基金協会)構成員
公益社団法人 畜産技術協会
T E L:03-3836-2301

【事業全体】農林水産省生産局畜産部畜産振興課
T E L:03-3502-8111(内線4923)